

ナロックレバー NLV-08、10

分解組立マニュアル

《分解組立工具》

分解組立には、次の工具が必要になります。

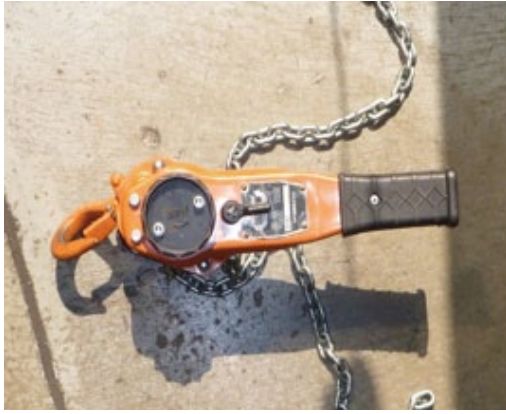
- ①六角棒スパナ 3mm、5mm
- ②スナップリングプライヤー軸用 対応径12～30mmφ
- ③ソケットレンチ又はスパナ 10mm、13mm
- ④ナイフ
- ⑤プラチックハンマー
- ⑥グリース
- ⑦接着剤

《分解組立》

分解組み立ては自己の責任において実施して下さい。

また、弊社においても修理を承っておりますので、

是非、修理をお申し付けください。



最初に外観点検を行う

- ・ ハンドルの動きとキリカエツマミが正常か
- ・ ロードチェーンがスムーズに動くか
- ・ ニギリが正常に回転するか
- ・ ハンドルの曲がりや変形は無いか
- ・ 上フックと下フックの安全金具は正常か
- ・ グリップは破損していないか
- ・ ガワイタ A・B の変形は無いか
- ・ ギアカバーの変形は無いか

分解作業時には、部品の摩耗・変型・亀裂・破損・錆を確認し
不良部品は必ず交換して下さい。



1) ニギリを外す

六角ボルトを六角レンチにて外す。
この時キリカエツマミをアップ側にすると良い。



ニギリ



2) スナップリングを外す



スナップリング

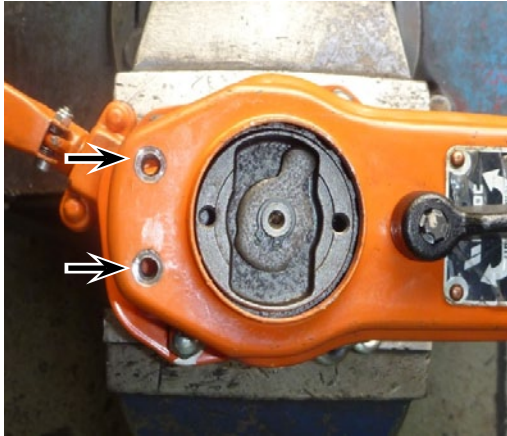


3) チェックを外す

チェックを持ち上に引き上げる。



チェック

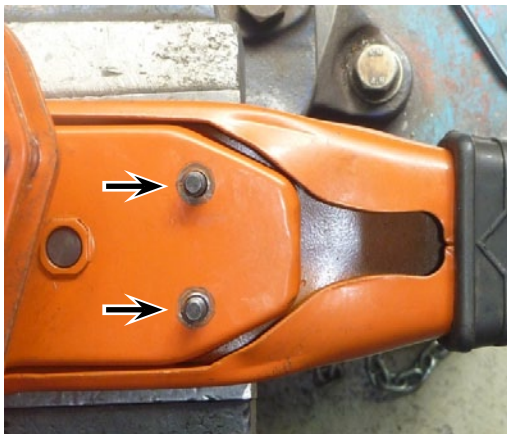


4) ハンドルを外す

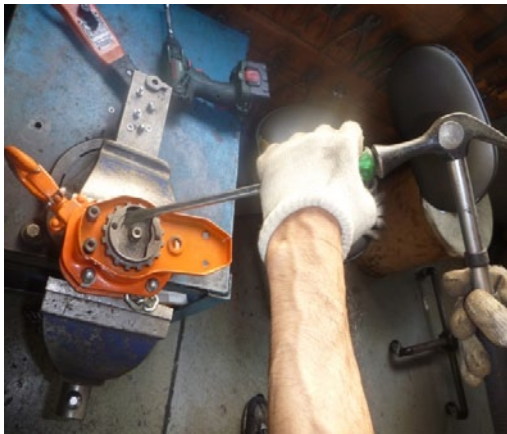
ハンドル上部→部分のボルトを緩める



ハンドル



5) ハンドルの裏側→部分のナットを外す



6) キリカエギヤーを外す

●●を手で回しながら外しますが、時に強く回転しない場合が有ります。その時は、当て物をしながら軽くハンマーなどで反時計回りに叩き緩める。



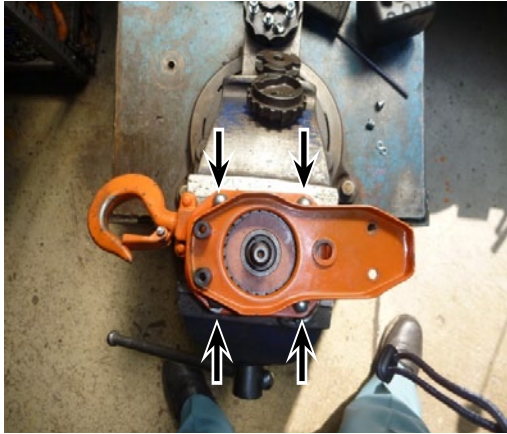
キリカエギヤー



7) クラッチを外す



クラッチ



8) ブレーキカバーを外す

↓部分4カ所のナットを緩めてブレーキカバーを外す。



ブレーキカバー



9) 上部ブレーキバンを外す

ブレーキバンが摩耗や破損して無いか確認する。



ブレーキバン



10) ツメギヤーとスプリングを外す



ツメギヤー



スプリング



11) 下部ブレーキバンの確認

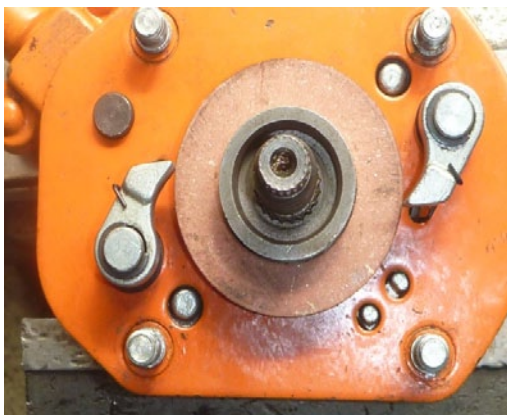
ブレーキバンが摩耗や破損して無いか確認する。



12) ツメが正常に働いているか

動きが悪い場合はブレーキバンのカスや錆びに寄る事もありツメの受け軸にCRC等にて動きを軽くし、少量のオイルを挿すと良い。

ピニオンギヤーの動きに異常がある場合 (a) の作業工程に進んで下さい。



13) 下部ブレーキバンの装着

古くなったブレーキバンの交換をすると良い。
交換は、下部・上部の2枚1組でお願いします。



14) ツメギヤーの装着

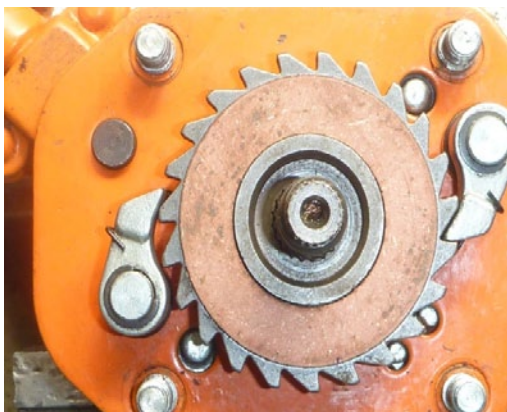
ツメギヤーが正常にツメと噛み合うかツメギヤーを回してみる。ツメがEリングで確実に止まっているか確認する。



ツメ



Eリング



15) 上部ブレーキバンの装着

古くなったブレーキバンの交換をすると良い。



16) スプリングの装着

ピニオンの螺子部に異物や錆がないか確認し、付着している場合は取り除き少量のオイルを挿すと良い。但し、オイルはブレーキバンに付着しないように注意する。



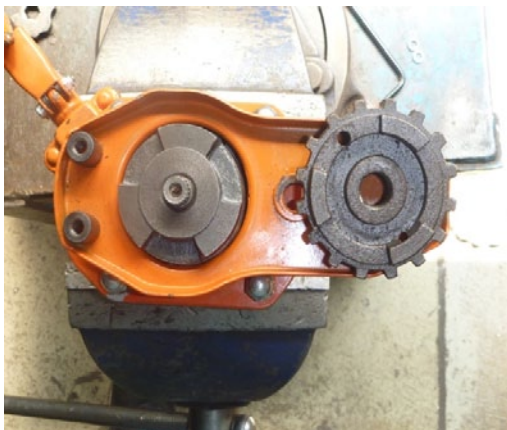
17) クラッチの装着

クラッチは軽くまわしピニオンに取り付ける。



18) ブレーキカバーの装着

4カ所のボルトにスプリングワッシャーを入れナットで最後まで締め込む。



19) キリカエギヤとクラッチを組合わせる。



20) クラッチとキリカエギヤの装着

ここでクラッチとキリカエギヤを強く最後まで手でカチカチと音がするまで強く締めこみ締め付け**ブレーキが効いた状態にする。**

これが十分でないとブレーキの利が悪く、また、操作に大きく影響が出ます。

写真の様にピニオンの螺子部が出る処まで締め付ける。



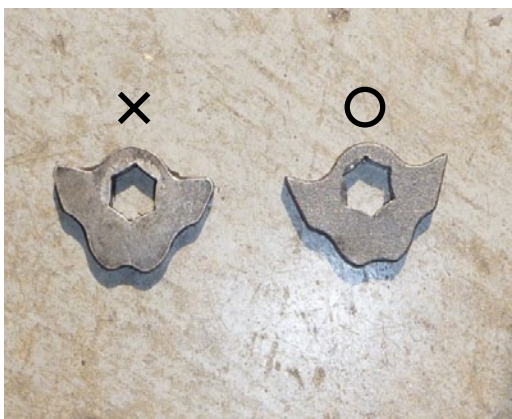
21) チェックの装着

チェックは、左写真の様に中央もしくは、時計廻り方向に少し回転した位置にセットして下さい。取付時キリカエギヤの左又は右面にチェックが接触していると使用中ブレーキが効かなかったり効きすぎたりします。**非常に危険です。**



22) スナップリングの装着

スナップリングはピニオンの溝に確実にハマる事が重要です。



23) 使用后と新しいキリカエツメの比較

キリカエツメの両端が使用状況により磨り減っている場合は早く取り替えると良い。



24) キリカエツメをハンドルに装着



25) バネウケとキリカエバネ

バネウケをキリカエバネに差し込む。



26) ハンドルにバネウケとキリカエバネの
組み合わせハンドルに装着

キリカエツメとキリカエギヤの接点に少量の
グリースを塗ると良い。



27) ハンドルの装着

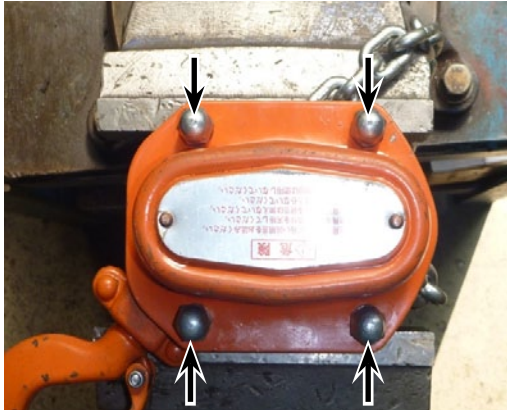
上部にスプリングワッシャを入れボルトを締め
付ける。



- 28) ハンドル裏部分のナット締め付け
スプリングワッシャを入れナットを締め付ける。



- 29) ニギリの装着
六角レンチにて締め付けるが其のときキリカエツマミをダウン方向にしておくが良い。



a) ギヤーカーバーを外す

4カ所のナットを緩めギヤーカーバーを外す。



ギヤーカーバー



b) 各ギヤの確認

ギヤーカーバーが外された状況

第2・3ギヤの破損や損傷ないか確認し、マークの位置を合わせ組み付けて下さい。



第2・ギヤ



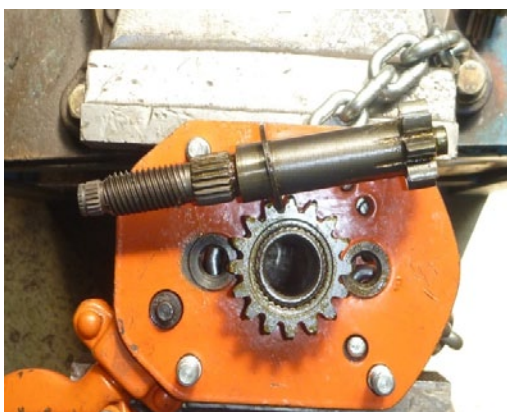
c) ピニオン・ロードギヤに

破損や損傷ないか確認



ロードギヤ

(d) 以下のピニオン引抜作業を行うときは、必ず(1)～(12)が終わっている事

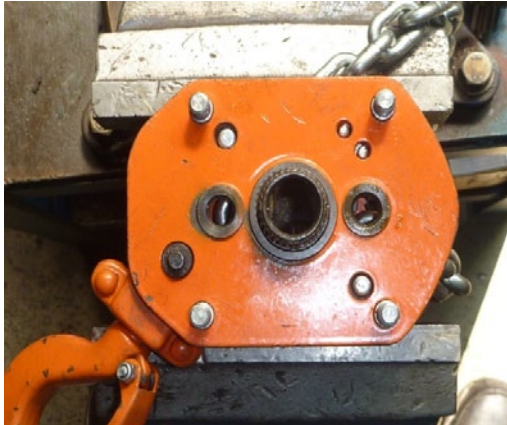


d) ピニオンの確認

ピニオンを引き抜き全体に破損や損傷が無いか確認する。



ピニオン



e) ギヤー全体を外した状態

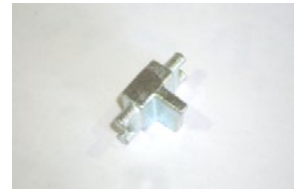


f) ガワイタBを外した状態

各部品に破損や損傷がないか確認ロードチェーンとロードシーブ・チェーンガイドチェーンケリの組み合わせ状態



チェーンガイド



チェーンケリ



g) ガワイタBを元に戻す

ガワイタBを元に戻すがチェーンガイド・チェーンケリ・上フックピンを写真の様にはめる。



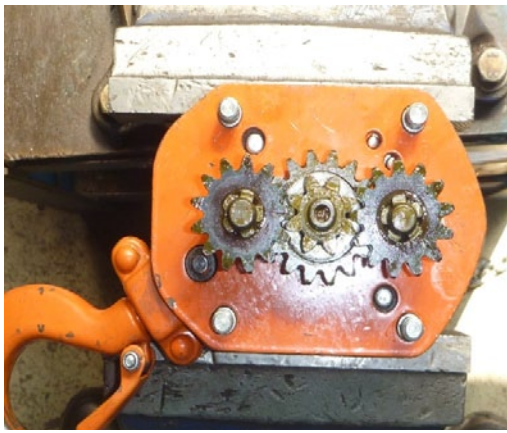
ガワイタB



h) ロードギヤーの装着



i) オピニオンの装着



j) 第2・3ギヤの装着

この時点でギヤー周りにグリースを少し多めに塗布する。



k) ギヤーカバーの装着

ギヤーカバーとガワイタBを密着させる。



l) ギヤーカバーの装着

4カ所のボルトにスプリングワッシャを入れナットを締め付ける。

ギヤーカバー装着後、(13)～(29)を組立てて下さい



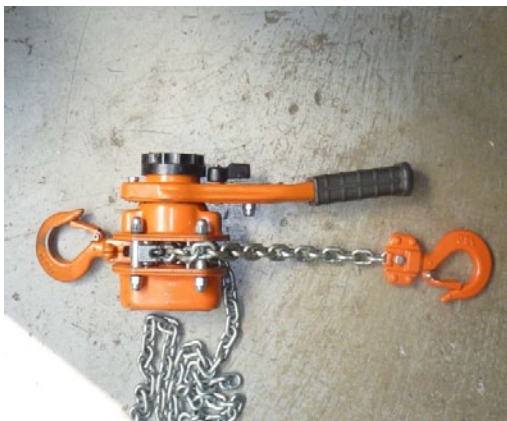
m) ロードチェーンの装着方向確認

チェーンが抜け落ちている時にはチェーンケリが付いている方向を上にする。



n) ロードチェーンの装着

ロードチェーン挿入には上の写真の方向からロードシーブの溝に沿って挿入する。

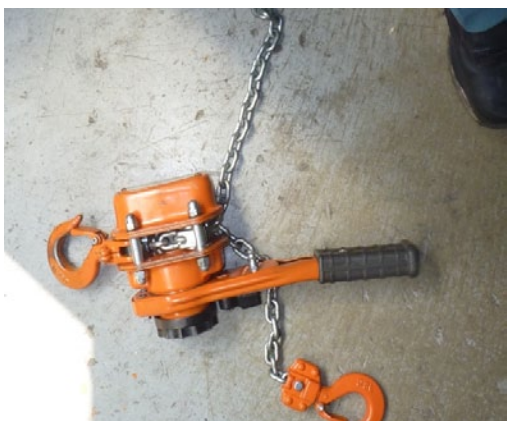


o) 下フック付ロードチェーンの取り付け方向

ロードチェーンが挿入した方向の端に下フックが付く。



下フック

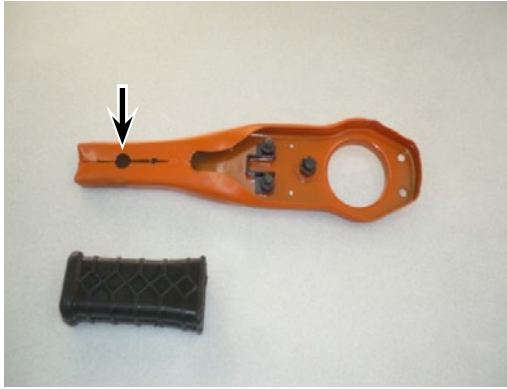


p) ストッパー付ロードチェーンの取り付け方向

片側のチェーンガイドの内側に成るようにし、ロードチェーン末端にチェーンストッパーを取り付ける。



チェーンストッパー



q) グリップ交換

破損したグリップをカッターで切り取り除いた後、ビスがあれば切り取って下さい。



グリップ



r) グリップ接着

接着剤を本体とグリップ内面に塗り、グリップの突起部がハンドルの丸穴に収まるよう差し込む。



s) グリップ接着完成

接着剤が乾燥すれば完了です。



t) 組立完成チェック

キリカエツマミを動かしアップとダウンが正常に操作できるか、負荷を掛けチェックする。また、ロードチェーンを手で引っ張りブレーキが利くか操作してみる。

ブレーキの利きが悪い時にはクラッチとキリカエギヤの締め付けが足りない場合があり、再度ニギリとチェックを外してから(19)～(29)の作業をもう一度行って下さい。